



総合格闘技向上委員会

2005.06.14 K-1 WORLDGP@広島

富平辰文に見た大和魂

トーナメント参加選手8人中7人が日本人の実質JAPANGPの今回の"WORLD GP"決勝後の日本人を祝うために舞い降りるはずだった金色の花吹雪は、ボブ・サップ復活を祝う狼煙となってしまった。インタビュースペースに現れた富平辰文の体は、その返り血ならぬ花吹雪を纏い、哀しく光り輝いた。

勝利したボブ・サップを讃えるセレモニーの大音量に搔き消されるように、富平は「武蔵さんがニコラス・ベタスに日本代表の座を奪われた時より重罪です。他の敗れた日本人選手に申し訳ない」と言った。その瞬間、先日のサッカー日本代表×北朝鮮戦後の「今日出られなかった(小野)伸二やベンチのみんなのためにも…」と言った小笠原満男の顔が浮かんだ。勝利しW杯への切符を掴み取った小笠原と、惜しくもWORLD GP決勝行きへの切符を掴み損ねた富平。明暗こそ別れたものの、共に闘った仲間のために日の丸を背負い闘った二人。

しかし、富平の屈せざる心にしかと大和魂を見た。インタビュースペースで彼が頭に巻いた赤と白のタオルが日の丸に見えたのは、彼が魅せた大和魂からではないだろうか。

(2005.06.20up@格信犯ウェブ)

全国のみなさん、所英男を見てください

2005.07.06 HERO'S@代々木

所英男が地上波で鮮烈なるデビューを飾った。しかも、相手はバウンドフォーバウンド(全階級の選手を同階級と考えた場合)で最強と謳われ続けたアレッシャンドリ・フランカ・ノゲイラことベケニョに。

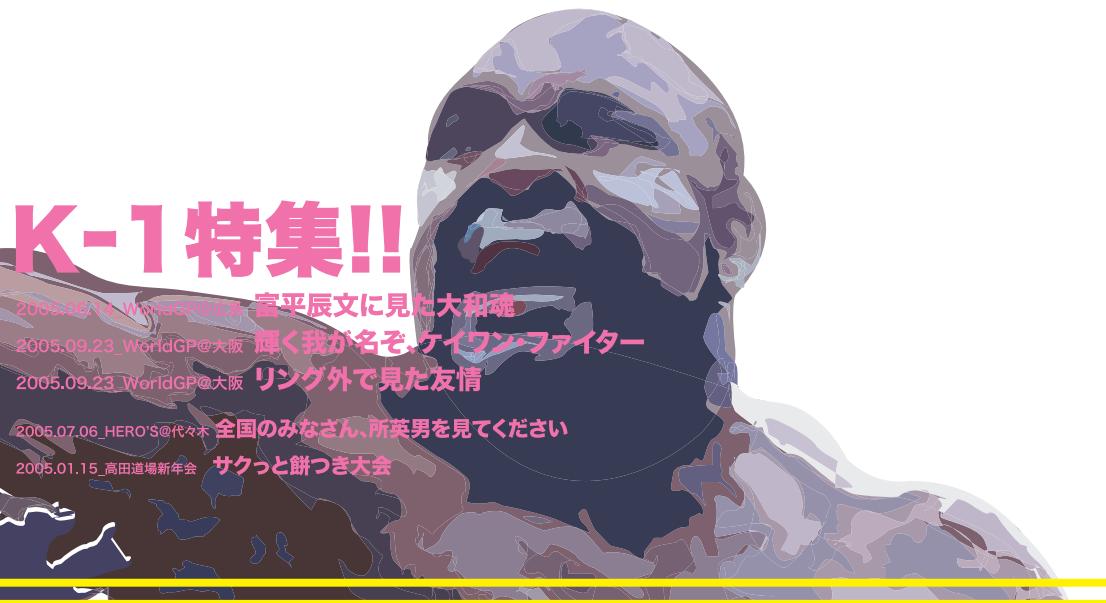
ZST4兄弟として、小谷直之・矢野卓見・今成正和と共にZSTGPで活躍。その後、矢野・今成が抜け、小谷とのエース対決で敗れ、優勝を至上命令としてZSTGP2に挑むも、大石真丈に敗れレミギウス・モリカビュチスに優勝をさらわれる。名勝負製造機と言われ続けるも、日の目を浴びることはなかった。

そんな所に一世一代のチャンスが巡ってきた。舞台はHERO'S。しかも相手はあのベケニョ。しかし、山本KID徳郁、ボブ・サップらの出場する今大会ではマニアには注目されるも、地上波ではカットされてしまうんだろうと思っていた。しかも、壮絶な負けっぴりで。ところが、蓋を開けてみれば、必殺技ギロチンチョークから逃れ、大逆転勝利。プロレスファンの狙ったのが狙わないのか、風車の理論とも言うべき闘い。判官晶晶無しに称賛を送りたい。

ずっと昔から所英男を見守り続けたシンジニシムラさんを知っている私は、勝手に自分まで親心でテレビに向かって「全国のみなさん、これが所英男です。所を見てください」と叫んだ。川口能活の清水商業時代の大滝監督が静岡地区予選で優勝した際のお立ち台インタビューで「全国のみなさんに能活を見てもらえることが嬉しい!」と涙ながらに叫んだのと同じく。「PRIDEやK-1以外にも、いい選手はいるんです。みなさん分かってもらいましたか?」と明日、会社の中心で所を叫ぼう。

(2005.07.09up@格信犯ウェブ)

我々は格闘技に魅せられ、2000年より格信犯というフリーペーパーを創刊し、2004年より格信犯ウェブというウェブサイトを運営しております。格信犯プレスは格信犯ウェブから厳選したコラムを加筆・修正し掲載しております。電車での移動時間に、カフェでの待ち合わせの時間潰しにでも気軽に読んで頂ければ幸いです。感想・ご意見などありましたら、メールか格信犯ウェブに書き込みくださいませ。



K-1特集!!

2005.06.14 WorldGP@広島 富平辰文に見た大和魂

2005.09.23 WorldGP@大阪 輜く我が名ぞ、ケイワン・ファイター

2005.09.23 WorldGP@大阪 リング外で見た友情

2005.07.06 HERO'S@代々木 全国のみなさん、所英男を見てください

2005.01.15 高田道場新年会 サクッと餅つき大会

カクシンハンプレス / 002

martial arts instant mobile paper : kaxin-hang press / october.2005

About Kaxin-Hang

あまり格闘技に興味がなかった人が少しでも興味を持ってくれてたら、格闘技を元々好きな人の不満点・調べものなどお役に立てれば、私達はとても幸せです。

確信犯が「悪い事とわかっているながら、あえて悪い事を行う」という意味で使われている事が多いですが、本来の意味は【政治上・宗教上の信念に従って法律を犯す人・それを恐れない犯人】です。

我々格信犯は格闘技を強く信じ、搖るぎない信念を持って活動しています。その上で、あえて格闘技を叩き斬って見えない側面や裏側を、フリーペーパーとウェブサイトという媒体で活字という手段を用いて皆さんにお届けしています。



Tsan

www.tsan.jp

© 2000-2005 Transaction / All rights reserved.

© 2000-2005 Kaxin-Hang / All rights reserved.



総合格闘技向上委員会

リング外で見た友情

今回ほど、コラム執筆に手こずった大会はなかった。というのも、何も感じなかったのだ。いや、正確にいうと熱くなれなかつた。元々、立ち技格闘技より、総合格闘技が好きと言うものもあるが、K-1 MAXには毎回熱くさせられし、魅力と可能性を非常に感じる。ではなぜ今回、熱くなれなかつたのか。それを、自己解決する意味でも、数試合を振り返つてみたい。

第3試合 GP一回戦 3分3R(延長1R)

○レイ・セフォー(ニュージーランド/ファイアアカデミー/昨年ベスト8)
●ガオグライ・ゲーン・ラシン(タイ/伊原道場/昨年3位)
判定3-0(御座岡30-26/川上30-26/大成30-26)
※2R右フックでガオグライに1ダウンあり

谷川流のカラーの違う者同士の分かり易いマッチメイク。私はガオグライのヘビーリード線での闘いには反対ではあるが、名勝負の予感。蓋を開けてみると、噛み合わず、セフォーがなんとか盛り上げようとするも、結果的に興奮には至らず。

第4試合 GP一回戦 3分3R(延長1R)

○ルスラン・カラエフ(ロシア/マルブロジム/GP最終予選優勝)
●リカルド・ノードストランド(スウェーデン/ヴァレンチュナ・ボクシング・キャンプ)
判定3-0(御座岡30-29/川上30-27/大成30-27)

マンネリ化する面子の中で今回、ホンマンと並び期待の新星カラエフ。ホーストとの世代交代の闘いが期待されたが、残念ながらホーストの皮膚炎による欠場で消滅してしまった。そこで、カラエフの圧勝を願うが、意外に苦戦を強いられる。しかし、ボテンシャルの片鱗は垣間見ることが出来た。

第6試合 スーパーファイト 3分3R(延長1R)

○レミー・ポンヤスキー(オランダ/メジロジム/昨年優勝)
●アレクセイ・イグナショフ(ペラルーシ/チヌックジム/昨年ベスト16)
4R 判定3-0(御座岡10-9/岡林10-9/梅木10-9)
3R 判定1-0(御座岡30-30/岡林30-29/梅木30-30)

前人未踏の三連覇を目指す王者vs.才能を生かし切れない日陰暮らしのイグナショフとの因縁の対決。絶対王者となるべきレミーの決勝GPへのステップアップに期待するも、消化不良に終わる。同じオランダ人ホーストへのオマジューか、見事なコンビネーション。見えたる派手な技は封印し、地味に判定勝利するあたりに、またホーストを見た気がした。

第7試合 GP一回戦 3分3R(延長1R)

○ジェロム・レ・パンナ(フランス/メトリーム・チーム/昨年リザーバー)
●ゲリー・グッドリッジ(トリニダード・バゴ/フリー/インターベンチナルGP優勝)1R 2'13" KO (3ダウン: 右フック)

今回、最も興奮した試合。プライベートでも交流のあるというグッドリッジにローを打ち込むパンナは非常に映ったが、それは試合を早く終わらせたいという友情からだったのだ。

それを確信したのは試合後のこと。先にリングを降り、足を引きずりながら退場したグッドリッジ。リング上で表彰され、遅れて退場したパンナが足早に花道を後にし、控え室に戻るグッドリッジをオブンしていたのだ。その後ろ姿に、彼らのリング上で魅せるプロフェッショナルと、リング外で見せる闘つた男同士の友情を見た気がした。

第9試合 GP一回戦 3分3R(延長1R)

○武威(日本/正道会館/昨年2位)
●フランソワ・ボタ(南アフリカ/バッファローズ/昨年3位)
判定3-0(御座岡30-29/川上30-27/大成30-29)

今大会こそは日本人王者をとる期待を背負った武威が地元大阪で観客にどういったファイトを魅せるのか。そこには着目して試合を見つめた。ある意味、去年までと同じく順調な仕上がりを見せたとも言えるが、あえて苦言を呈すと、代わり映えのしないファイトに少々落胆してしまった。

第10試合 GP一回戦 3分3R(延長1R)

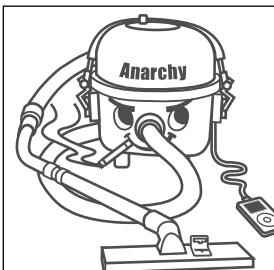
○ボブ・サップ(アメリカ/チーム・ビースト・ジャパンGP優勝)
○チエ・ホンマン(韓国/フリー/アジアGP優勝)
判定0-2(御座岡28-29/岡林28-30/梅木29-29)
※3R膝蹴りでサップに1ダウンあり

説話したいことは山ほどあるが、観客が最も盛り上がったのはこの試合。瞬間最高視聴率をマークしたのもこの試合。今の私が求めているものと、一般視聴者が求めているものには大きな差があり、温度差を感じられずにはいられない。実際、私も興奮したが、やはり一過性のもので試合後の余韻はいいものではなく、考えさせられた。

以上、簡単ではあるが数試合の寸評をしてみた。これらから分かった私が熱くなれなかつた理由は、消化不良の判定試合の多さ、噛み合わないマッチメイク、一過性での見えないマッチメイク、王者の強さの威厳不足、以前も見たような試合内容など。今回に限った事ばかりかも知れないが、私が一観客ならTV観戦でもよかつたのではないかと思つてしまつたと思う。

決勝GPでの組み合わせは、パンナ×アーツ以外は魅力的なカードが出揃つたので、アツクなれるような試合を是非見せて欲しい。また、今回順当に8強が勝ち上がつた感があるので、いい意味での裏切りにもまた期待したい。

(2005.10.03up@格信犯ウェブ)



フライヤー・ポスター・ロゴ・ウェア
ジャンル問わず各種デザイン承ります

www.yojirock.com



WARNING: ROCK TO THE FUTURE
CHOKING HAZARD - THE GREAT ROCK'N'ROLL SWINDLE

BELIEVE THE MARTIAL ARTS & COMMITTED THE WAY OURSELVES

www.kaxin-hang.com
info@kaxin-hang.com



discoverYO channel

サクっと餅つき大会

2005.01.15 高田道場新年会



Men's Judge

2005.09.23 K-1 WORLDGP開幕戦@大阪

新年を迎える1発目ということで、毎年恒例の高田道場「餅つき大会」についてのdiscoverYO[デスカバリヨー]です。桜庭選手の大ファンの僕としてはこんなチャンスを逃すわけにはいきませんので、もちろん参加してきました。

当初、道場に向いのマンション前で行われる予定だったのですが、あいにくの雨天、災い転じて福と成すというべきか、急遽場所が変更となり、道場内に潜入する事ができました! ワクワクしながら階段を降りていくと・・・もう既に選手達がいるではないですか!! 高田統括本部長、桜庭選手、山本選手、松井選手と実際にその距離2m。すぐ目の前で餅つきをしているのです!! 兴奮し過ぎて気絶しそうになりました。『よいしょ~!』と一緒に声を出し、餅をつく選手達をカメラで撮りまくる僕。

選手達の次に道場生の子供達が餅をつき、いよいよ僕たち一般ファンに順番が回ってきました。待ってましたとばかりに僕も手を挙げ、餅をつかせてもらっていました。その様模様をお伝えします。

松井選手「これで仕上げますんで、ガンガンいっちゃんて下さい。」
R T R 「わかりました! がんばります!!」

と全身全霊の力を込め、きねを打ち下ろした瞬間、うすの角部分を思いっきり叩いてしまい、木くずを大量に餅にかけてしまう。

R T R 「すいませんっ! 大丈夫ですか?」

若手選手「大丈夫ですよ、気にしないで下さい。」
と超優しい言葉をかけてもらい、気を取り直して何度もついていているうち、僕の力が見えてか?

松井選手「じゃ、僕が最後やりますんで。」
と超パワフルにきねを打ち下ろし、終了~。

肝心の餅のお味はというと・・・やわらかい! 思わず「お口の中が、フワフワ祭りやあ~!」と声を上げてしまうぐらいおいしかったです。参加者は少しの一般ファンと報道陣で、大半は道場生の父兄の方々と、道場内は実にアットホームな雰囲気でした。満腹になった子供達がスパーリングを始め、三角範囲めやら、下からの腕ひしぎ逆十字などプロ額負けの技を披露しているのはピックリで、実際に将来が楽しみです。餅つきが一段落した頃、高田統括本部長への取材が始まり、横で聞き耳を立ててみると、ミルコvsヒヨードルやミドル級GPについて語っていたのですが、あまり覚えていません。。。

何より今回嬉しかった事は、昨年の『PRIDE男祭り』を欠場し、きねをつくのを数回に抑えられるなど、まだ万全とはいえないものの、桜庭選手の元気そうな笑顔を見られたことです。さらに選手達と一緒に餅をつかせてもらい、写真まで撮つてもらいと人生最良の日となりました。
最後に高田統括本部長のお話「餅ついてない人は今年不幸になるよ!」などがあつて、参加者全員で三本締め×5セッ特! をし、道場を後にしました。

そこで、今回の「discoverYO channel」は餅もついたし、これまで今年は幸せ祭りじゃあ~! ということで締めさせて頂きます。

(2005.01.21up@格信犯ウェブ)

(2005.10.12up@格信犯ウェブ)

11月の決勝(東京ドーム)に勝ち残った8選手には、これぞケイワン・ファイターというところを見せて頂きたい。

♪鉄腕強打幾千度び鍛えてここに東京ドーム

勝利に燃ゆる栄冠は輝く我等ぞケイワン・ファイター
オウオウオウオーケイワン・ファイターフレフレフレ

